

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東
コード番号 6870 URL <https://www.fenwal.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 誉将
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 昭 TEL 03-3237-3561
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	8,882	△2.2	969	37.4	1,018	27.1	851	—
2023年12月期第3四半期	9,083	6.8	705	19.7	801	9.9	46	△77.1

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 982百万円 (186.6%) 2023年12月期第3四半期 342百万円 (57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	151.90	—
2023年12月期第3四半期	8.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	18,772	13,045	69.5	2,326.43
2023年12月期	19,075	12,680	66.5	2,261.30

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 13,045百万円 2023年12月期 12,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	72.00	72.00
2024年12月期	—	37.00	—		
2024年12月期（予想）				37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,790	1.5	907	△12.3	944	△18.5	508	31.7	90.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	5,893,000株	2023年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	285,522株	2023年12月期	285,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	5,607,478株	2023年12月期3Q	5,606,652株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を起点とした設備投資の拡大や雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復基調で推移したものの、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念の他、国際情勢に伴う資源価格の高止まりに加え円安の進行など先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、受注高は消防ポンプ部門の消防車の受注が好調だったものの、SSP部門の新規案件の停滞もあり減少いたしました。売上高につきましても、サーマル部門のセンサーの出荷の落ち込み等により前期比で減少いたしました。

以上の結果、受注高は9,340百万円(前年同期比0.5%減)、売上高は8,882百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

利益面におきましては、大型工事案件の竣工に伴う売上総利益の増加等により、営業利益が969百万円(前年同期比37.4%増)、経常利益が1,018百万円(前年同期比27.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が851百万円(前年同期は46百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門におきましては、既存顧客に対する大型の新規更新案件の一服感もあり受注は減少いたしました。一方、停滞していたハロン消火設備等の大型案件が竣工したことにより、売上は増加いたしました。

以上の結果、受注高は3,467百万円(前年同期比17.0%減)、売上高3,811百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、機器販売の受注環境の回復に加え、プラントにおける安全対策案件の増加が期待できるものの、受注高は引き続き厳しい状況が続くものと予想しております。売上高に関しましても受注減少に伴い当面は厳しい状況が続くものと予想しております。

開発の状況につきましては、受信機及び感知器のリニューアル開発を継続して進めております。また、制御ユニットのラインアップ製品のリニューアル開発が終了いたしました。

サーマル部門

当該部門におきましては、半導体製造装置市場におけるAI関連の旺盛な装置需要に伴い、熱板を中心に受注が増加いたしました。一方、主力製品の一つである半導体製造装置向けセンサーは、客先の在庫調整に伴い出荷が減少したこと等により売上は減少いたしました。

以上の結果、受注高は1,447百万円(前年同期比20.3%増)、売上高は1,394百万円(前年同期比28.2%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、AI関連の需要が継続することから熱板の出荷量の増加が見込まれることに加え、センサーも品目を絞った販売戦略により受注獲得を図ることで、業績は堅調に推移するものと予想しております。

開発の状況につきましては、顧客の要求や市場ニーズに合わせた機能や性能の実現を目指した熱板の開発を進めております。また、温度調節器、サーモスイッチについては既存製品のリニューアル開発を継続しております。

メディカル部門

当該部門におきましては、主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置及び関連製品の出荷が計画を上回り売上は増加したものの、その反動による販売先の在庫調整等により受注が減少いたしました。

以上の結果、受注高は1,071百万円(前年同期比4.2%減)、売上高は976百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、2024年9月27日付の「透析装置関連の製造受託終息に向けた協議開始のお知らせ」で開示しましたとおり、人工腎臓透析装置関連する製造受託業務等契約の解消に向けて具体的な協議を進めてまいります。当該部門における人工腎臓透析装置以外の製品の製造及び販売につきましては引き続き継続してまいります。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

当該部門におきましては、産業機器向け製品の需要が底を脱したことにより、受注及び売上ともに増加いたしました。

以上の結果、受注高は743百万円(前年同期比13.3%増)、売上高は723百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、新規ビジネスの取り込みに対する課題も多く、今後の業績は厳しい状況が続くものと予想しております。

消防ポンプ部門

当該部門におきましては、国や地方自治体向け消防車の大口受注を獲得により、受注は増加いたしました。一方、国や地方自治体向けの消防車販売及び海外向けの消防ポンプの売上は減少いたしました。

以上の結果、受注高は2,611百万円(前年同期比17.2%増)、売上高は1,976百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内市場における国や地方自治体の消防予算は緩やかな回復傾向にあるものの、消防車のベース車両の供給が依然として不安定であるなど、先行きが不透明な状況が続くものと予想しております。

開発の状況につきましては、水冷式消防ポンプのモデルチェンジ機の派生機種の開発に着手しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、18,772百万円となり、前連結会計年度末19,075百万円に比べ303百万円(1.6%)減少しております。主な減少要因は「有価証券」502百万円(一%)、「受取手形及び売掛金」386百万円(21.7%)によるものであり、主な増加要因は「投資有価証券」403百万円(24.2%)であります。

負債合計は、5,726百万円となり、前連結会計年度末6,395百万円に比べ668百万円(10.5%)減少しております。主な減少要因は「製品改修関連損失引当金」259百万円(34.1%)、「長期借入金」221百万円(34.7%)であります。

純資産合計は、13,045百万円となり、前連結会計年度末12,680百万円に比べ365百万円(2.9%)増加しております。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」280百万円(35.7%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,819,624	7,069,022
受取手形及び売掛金	1,782,615	1,395,782
電子記録債権	1,330,956	1,005,742
完成工事未収入金及び契約資産	1,344,241	1,060,509
有価証券	502,444	-
製品	727,770	925,162
仕掛品	314,936	435,144
原材料	1,796,717	2,025,630
その他	210,768	88,874
貸倒引当金	△3,899	△3,899
流動資産合計	14,826,175	14,001,969
固定資産		
有形固定資産	1,291,918	1,673,944
無形固定資産		
のれん	810,766	723,898
その他	142,119	122,687
無形固定資産合計	952,886	846,585
投資その他の資産		
投資有価証券	1,670,353	2,074,229
その他	354,784	195,971
貸倒引当金	△20,650	△20,650
投資その他の資産合計	2,004,488	2,249,550
固定資産合計	4,249,293	4,770,081
資産合計	19,075,468	18,772,050
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,872,503	1,769,944
工事未払金	563,035	395,101
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	295,920	295,920
未払法人税等	89,465	225,240
賞与引当金	-	97,855
役員賞与引当金	-	14,808
製品保証引当金	315,712	278,769
その他	980,724	712,595
流動負債合計	4,717,361	4,490,234
固定負債		
長期借入金	640,300	418,360
役員株式給付引当金	6,658	9,819
退職給付に係る負債	232,376	204,225
資産除去債務	23,852	58,476
製品改修関連損失引当金	759,607	500,337
その他	15,118	45,179
固定負債合計	1,677,914	1,236,398
負債合計	6,395,275	5,726,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	9,329,785	9,564,475
自己株式	△413,653	△413,653
株主資本合計	11,373,249	11,607,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785,366	1,066,039
為替換算調整勘定	481,633	339,492
退職給付に係る調整累計額	39,942	31,945
その他の包括利益累計額合計	1,306,943	1,437,477
純資産合計	12,680,192	13,045,417
負債純資産合計	19,075,468	18,772,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,083,684	8,882,202
売上原価	6,232,052	5,825,445
売上総利益	2,851,631	3,056,756
販売費及び一般管理費	2,145,825	2,087,120
営業利益	705,806	969,635
営業外収益		
受取利息	28,480	812
受取配当金	27,764	34,495
為替差益	28,889	14,107
その他	20,509	9,482
営業外収益合計	105,644	58,898
営業外費用		
支払利息	8,823	8,496
その他	1,351	1,545
営業外費用合計	10,174	10,042
経常利益	801,277	1,018,491
特別利益		
投資有価証券売却益	6,388	—
製品改修関連損失引当金戻入額	—	56,214
特別利益合計	6,388	56,214
特別損失		
製品改修関連損失引当金繰入額	692,235	—
事務所移転費用	—	14,069
特別損失合計	692,235	14,069
税金等調整前四半期純利益	115,429	1,060,636
法人税、住民税及び事業税	117,990	293,025
法人税等調整額	△49,089	△84,147
法人税等合計	68,900	208,877
四半期純利益	46,529	851,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,529	851,758

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	46,529	851,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178,232	280,673
為替換算調整勘定	109,340	△142,141
退職給付に係る調整額	8,678	△7,997
その他の包括利益合計	296,251	130,534
四半期包括利益	342,780	982,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,780	982,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	155,122千円	202,472千円
のれんの償却額	86,867千円	86,867千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	550,663	1,941,581	834,860	689,110	2,074,583	6,090,801	—	6,090,801
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,992,883	—	—	—	—	2,992,883	—	2,992,883
顧客との契約から生じる収益	3,543,547	1,941,581	834,860	689,110	2,074,583	9,083,684	—	9,083,684
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,543,547	1,941,581	834,860	689,110	2,074,583	9,083,684	—	9,083,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,543,547	1,941,581	834,860	689,110	2,074,583	9,083,684	—	9,083,684
セグメント利益又は損失(△)	547,269	405,013	76,747	80,352	83,551	1,192,934	△487,128	705,806

(注) 1 セグメント利益の調整額△487,128千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	559,002	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	5,629,313	—	5,629,313
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,252,889	—	—	—	—	3,252,889	—	3,252,889
顧客との契約から生じる収益	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,811,891	1,394,505	976,452	723,246	1,976,106	8,882,202	—	8,882,202
セグメント利益又は損失(△)	1,073,999	267,099	40,611	89,770	△21,416	1,450,064	△480,428	969,635

(注) 1 セグメント利益の調整額△480,428千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。